

H

東野便り

HIGASHINO DAYORI

06

学校法人
盈進学園 東野高等学校
総務部

制約の中で生きる

東野高等学校 校長 北村 陽子

謹啓

師走の候、保護者の皆様におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

コロナ感染症の収束がなかなか見えない中、先行き不透明な閉そく感を抱え過ごした2学期だったかと思います。今は、世界全体が「制約の中で生きる」ことを強いられています。そんな中、学びを切らさないためには、オンラインの導入が急務でした。このような状況にならなかつたら、部分的には問題があることを理由に進められずにいたかもしれません。実際、部分的問題として通信環境のない家庭があることを理由に踏みきれずにいた学校もいくつかあったようです。しかし、本校は、保護者の皆様のご理解を得、オンライン導入もかなりスムーズに受け入れていただき、改めて感謝申し上げます。ただ、そのことに不安視されているご家庭には今後も丁寧に対応させていただきたいと考えておりますので、お子様を通じてでもお伝えください。

また、「学校に通い学ぶこと」の意義を考えようと問題提起した2学期でした。

「学校に通い学ぶこと」の意義を考えたとき、もちろん知識を得るためですが、学校は単に知識を得るだけの場所としてだけでは、満足ではないと思うならば、2学期は学びにプラス何かをやろう。2学期のテーマは結束力です、と始業式にはお話しさせていただきました。

「学校に通い学ぶこと」の意義の一つには、社会性を育むことがあげられるでしょう。それは集団の中で育成され、人とのかわり方を、体験で身に付けさせることが学校の役割だと考えます。

●1年生は、入学してから、ほとんどの行事が無く、なかなか結束力を高める場面がありませんでした。そこで11月6日【クラス対抗 Higashino Walk】を実施し、森林公園の中を8キロ歩いてきました。制約の中で歩くという行事をどう作り上げ、今後どう生かされるか楽しみです。そこからなお、クラスの結束力が高まったことは確かでしょう。

●2年生は、TGG（東京グローバルゲートウェイ）にクラスごとにバスで行き、英語の大切さと、英語を話せる喜びを思う存分味わっていたようです。さあ、修学旅行とやりたいところですが

現2年生のカナダ修学旅行は中止といたします。ここまで、2回延期し機会をうかがってきましたが、この現状では、中止の結論を出すしかありません。ここまで、不安定な予定変更気持ち切らずついてきてくれた生徒たちそして保護者の皆様には、感謝申し上げます。今後の処理等に関しましては、1月にご連絡いたします。

現2年生は、それぞれの進路が確定後2022年3月には、『特別修学旅行』の企画を考案中です。もちろん希望者になろうとは思いますが、そのことにも期待しご理解いただきたいと思います。

学校法人
盈進学園 東野高等学校〒358-8558 埼玉県入間市二本木112-1
Phone 04-2934-5292(代表) Fax 04-2934-4665EISHIN GAKUEN
SCHOOL FOUNDATION HIGASHINO HIGH SCHOOL112-1 Nihongi, Iruma City, Saitama Prefecture 358-8558 JAPAN
Phone +81-4-2934-5292 Fax +81-4-2934-4665



東野便り

HIGASHINO DAYORI

東野高等学校
総務部

●3年生は、総合型選抜試験・学校推薦型選抜試験での結果が出つつあります。努力に勝るものはありません。学校推薦型選抜(公募制)試験で合格を決めたある生徒は「3年生になった当初、新しいクラスにはあまりなじめずにいました。でも、目標があったので、教室で『ひとりポツンとしているような存在だ』と自分を感じることもありました。でも、目標があったので、教室で『ひとりポツンとしているような存在だ』と自分を感じることもありました。でも、目標があったので、教室で『ひとりポツンとしているような存在だ』と自分を感じることもありました。でも、目標があったので、教室で『ひとりポツンとしているような存在だ』と自分を感じることもありました。」と話してくれました。受験生として『ひとりポツン』と孤独を感じる時を、どうやり抜くかが重要で、その時こそ力が蓄えている時と捉えたらどうでしょう。『ひとりポツン』その言葉が不思議と私の心に響きました。

1月16・17日は初の共通テスト受験日です。大勢の中で『ひとりポツン』としていても気にせず構えましょう。

●学校全体としては、文化祭の代わりとして企画した【大きな絵】【東野ギャラリー】も大成功でした。毎日新聞にも掲載され、多方面からの反響の大きさに驚かされると同時に、生徒たちの底力にも感服いたしました。

さらに全校で取り組む今年度初の「英検週間」も実施することが出来ました。1学年教員は「2年生になっての英検週間では『3級以上の生徒しか面倒見ないよ』と発破をかけたようです。言い切ることはかなりの勇気がいりますが、育てるためには必要でしょう。到達しない生徒がいたらどうするかとそこばかりを気にしていたら言い切れません。それは最初に申し上げたオンライン導入と一緒にしたいと思います。3級以上取得が出来なかった生徒にはどう寄り添うかはもちろん考えています。部分的問題(ここでいう到達できなかった生徒について)を指摘され躊躇していると前進は不可能でしょう。進むことによって、何をすべきかが明確になると確信しております。

いずれにしてもコロナ禍をどう生きるか。変化を恐れることは何もない。でも、変わっていくためにはどうしたらよいかは考えましょう。学んで、知識を得て、堂々と変化していくことを希望します。

やはり、「知識は第一の宝」です。結束力を高めるためには、相手へ敬意を表することが必要で、そのためには「品行は最高の美」であり、このような時だからこそ「忍耐は無上の力」です。建学の精神が私たちにとっての礎です。

3学期は、1月7日(木)が始業式でその後は授業といたします。本来は1月8日を始業式としておりましたが、授業数確保のためもあり、一日早く始めることとしました。

年末年始は人と会う機会も増えがちですが、不要不急の外出はできるだけ控え、このような時だからこそ、家族と語り合うこと、静かに自分を見つめる機会としましょう。また、規則正しい生活を維持し各自の体調を知るためにも、健康観察カードを記録し続けましょう。

「制約の中でどう生きるか」一命が大切なのはあたりまえとして、その中でよりよく生きる生き方を一緒に考え進んでいただくことをお願いいたします。

それでは、良いお年をお迎えください。

謹白

今後の予定

1月7日(木) 始業式・授業	1月20日(水)・21日(木) 入試準備/自宅学習
9日(土) ベネッセステップ診断(1・2年全員)	22日(金)~24日(日) 入試/自宅学習
11日(月) 成人の日	27日(水) 実力診断テスト(1・2年進学)
16日(土) 大学入学共通テスト	総合学力テスト(1年特進)
17日(日) 大学入学共通テスト	28日(木) 漢字検定(希望者)